

會務

土木學會誌 第十三卷第二號 昭和二年四月

- 昭和二年二月十五日第一回編輯委員會を開き川口委員長黒田、田中、高橋、古川の各委員出席會誌編輯上に付協議を爲せり。
- 同年同月十七日役員會を開き市瀬會長、井上副會長、青山、井上、大河戸、加賀山、樺島、物部の各常議員、廣井前會長、丹治、村の兩主事、川口編輯委員長、佐藤、古川の兩編輯委員出席市瀬會長議長席に着き下記事項を決議せり。
  - △事務室賃借に關する三菱地所部との契約書を承認すること。
  - △三月中に講演會を開催することゝし其講演を内務技師谷口三郎君に依頼し若し同君差支ある場合は神奈川縣技師平川保一君に依頼すること。
  - 其他會務に關する事項。
- 同年三月八日第二回編輯委員會を開き川口委員長、黒田、田中、野口、古川の各委員出席會誌編輯上に付協議を爲せり。
- 同年同月十日役員會を開き市瀬會長、井上、那波の兩副會長、井上、大岡、加賀山、樺島、物部の各常議員、丹治主事、川口編輯委員長、黒田同委員出席市瀬會長議長席に着き下記事項を決議せり。
  - △前回の役員會に於て決議せられたる講演會を三月二十九日午後五時より東京ステーション・ホテルに於て開催することゝし其講演を神奈川縣技師平川保一君に依頼すること。
  - △本年催すべき視察旅行は四月二十八日より同三十日に涉り名古屋地方大同電力株式會社大井ダム及鐵道省木曾川橋梁工事視察を爲すこと。
  - 尙都合により名古屋に於て講演會及懇親會を開催すること。
  - △萬國工業會議に關する費用分擔の件は工學會に照會の上決定すること。
  - 其他會務に關する事項。
- 同年一月三十日本會事務所を東京市麹町區永樂町一丁目一番地丸ノ内ビルディング第四六〇號室に移轉せり。
- 下記の諸氏は退會せられたり。
  - 會員 保科圭三郎君
  - 准員 小川圓藏君 栗原良輔君 清水善治君 村山整治君 森田利一君
  - 學生員 堀田 譲君
- 昭和二年一月十六日以降同年三月十五迄に於て入會を承認し名簿に登録したもの下記の如し（○印は准員より△印は學生員より轉じたるものと示す）

## 會 員 (十四名)

○阿部一郎君	○安藤 功君	今井 祐一君	上田 寧君	○内田莊一君
笠井通義君	川口利雄君	熊坂 昌輔君	酒井 薫君	○鮫島 茂君
西尾鉢次郎君	○荻野 達君	○御田龍太郎君	○綿貫保一君	

## 准 員 (三十名)

伊勢福治君	伊藤 悟君	伊村高親君	今井 周君	岩隈儀一郎君
上野 勳君	小野喜治君	緒方政雄君	△大川一郎君	△大野 唯樹君
太田茂次郎君	沖野民治君	河内清彦君	佐伯隆三君	佐藤 志郎君
鈴木春造君	恒次 稔君	徳富三男君	新野恒一君	林 重之君
林 孝君	藤江義夫君	藤代源作君	△福西正雄君	福原安治郎君
二井二一君	本間雅次君	守屋 定君	山崎一明君	吉村榮次君

## 學 生 員 (十三名)

五十嵐秀夫君	賀田終吉君	川邊利夫君	佐藤謙一君	下元 優君
武井金二郎君	谷征一郎君	中川幸一君	中山 太郎君	成田謙治君
服部玄夫君	伏見吉雄君	渡邊 澄君		

○昭和二年一月十五日以降同年三月十五日迄に寄贈及交換を受けたる雑誌其他下記三十三種なり。

## 寄贈を受けたる分

工業と社會第二十九卷第一，二號	二冊 東京工業會
研究報告第二——五號	四冊 製鐵研究所
工學部紀要第一冊第二號	一冊 北海道帝國大學
工學部紀要第四冊第二號及工學彙報第一卷第四,五號	三冊 九州帝國大學
同上 拔刷	一冊 會員 吉田德次郎君
三菱電機第三卷第二，三號	二冊 三菱電機株式會社神戶製作所
土木建築雜誌第五卷第一號第十二號合本及第六十卷第三，四號	三冊 シビル社
工業要錄第三卷第一，二號	二冊 工業要錄發行所
工學部紀要第十六冊十二號及第十七冊一號	二冊 東京帝國大學工學部
發明第四卷第二號	一冊 帝國發明協會
空氣工業第二卷第三，四號	二冊 空氣工業社

電氣製鋼第三卷第二號	一冊 電氣製鋼研究會
國產振興會報告第二號	一冊 國產振興會
鐵塔標準調查委員會第二回報告	一冊 日本電氣工藝委員會
工事畫報第三卷第三號	一冊 工事畫報社
區劃整理の一部及幹線道路擴築の一部廢止案に就て	一冊 東京市制調査會
建設第三卷第三、四號	二冊 建設社
名古屋工業會々報第四七、四八號	二冊 名古屋工業會
東洋建築材料商報第十七年三月號	一冊 東洋建材商報社
工政第八十八號	一冊 工政會
砂防工大意	一冊 内務省大阪土木出張所
竣工第三卷第三號	一冊 竣工會
丹那隧道開鑿に關する私見梗概	一冊 西尾鉢次郎君
建築資料共同型錄	一冊 建築資料協會
交換の分	
鐵と鋼第十二年第十二號及第十三年第一號	二冊 日本鐵鋼協會
工業化學雜誌及歐文附錄	二冊 工業化學會
業務研究資料第十五卷第一、二號及附錄	三冊 鐵道省大臣官房研究所
造船協會雜纂第五九號	一冊 造船協會
電氣學會雜誌第四六二、四六三號	二冊 電氣學會
建築雜誌第四九一——四九三號	三冊 建築學會
帝國鐵道協會々報第二八卷第一號	一冊 帝國鐵道協會

會員原恭造君は昭和二年三月三十日、准員伊津野憲亮君は同年二月十二日、同菅井留治郎君は同年同月十七日何れも死去せられたり本會は哀悼の意を表す

### 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより都付致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八に拂込用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

### 殘 部 内 譯

第五卷一號二號	一部金	壹	圓
第六卷三號六號	同金	壹	圓
第七卷二號三號四號	同金	壹	圓五拾錢
第八卷一號	同金	貳	圓
第九卷一號二號三號五號六號	同金	貳	圓
第十卷一號二號三號四號五號六號	同金	貳	圓
第十一卷二號六號	同金	貳	圓
第十二卷二號(附錄付)三號	同金	貳	圓五拾錢
第十二卷二號四號五號六號	同金	貳	圓
第十三卷第一號	同金	貳	圓
東京市内外交通に關する調査書	同金	參	圓
大阪市内外高速度鐵道調査會報告書	同金	壹	圓
土木學會誌索引	同金	五	拾錢

### 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の宿所の不明なるときは會誌の配付を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費支拂には差支なき様御配慮相成たし

### 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し必ず御支拂の事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成尙整理の都合有之候に付會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相成たし

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月至四月	自五月至八月	自九月至十二月
會 員	金拾八圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓
准 員	金拾貳圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓
學 生 員	金七圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢

新に入會したるもののは月割計算とし入會の翌月集金を發す

### 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者は共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配付を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

### 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年二月四月六月八月十月十二月(印刷又は原稿等の都合に依り翌月上旬配付の事あり)に發行し漏なく配付すべきに付翌月未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月經過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配付不可能のことあるべきに付御留意相成たし

領收報告　自昭和二年一月一日  
至昭和二年三月十五日　間受付分　(受付順)

會員大正十三年度第三期分會費

金六圓也　川地陽一君

會員大正十四年度第一期分會費

金六圓也　溝口親種君

會員大正十四年度第二期分會費

金六圓也　川地陽一君

會員大正十五年度第一期分會費

金六圓也　川地陽一君

會員大正十五年度第三期分會費

金六圓也　川地陽一君

會員昭和二年度第一期分會費

金六圓也　川地陽一君

喜君一範芳郎吉一  
政杏有太之正哲利鹿

西藻上野村藤田々藤木

小安井上大加岸佐佐鈴橋瀧富内沼柳吉平深三有安青岩石遠今稻

治洋郡君君藏人君君傳郡郡君君橘禎任助藏茂作一郎藏市郎郎夫郎郎次三昇明助宜稻一郎香之龍郎喜吉吉君  
 明武十季爲久三彌新茂榮義之幸勘九省亥猪三次參次一文重守之東健一滋信執二諫國久  
 田崎塚札村門尾東保溝口牛開谷田井葉谷村谷西原本口田子江藤口田野岡井尾立村海井  
 太尾大掛上神北工久近小坂坂新杉杉澄田千戶中中野山山松正溝武山伴濱姬福藤星鷺足今磯石  
 行信郎君質郎夫一衛郎藏夫一良榮郎藏君君一吉作一郎郎雄男助一郎郎吉一二藏郎弘三造郎洋夫市毅  
 敏光治榮田信淳田新拓多義木口桑谷光川并光田口川島浦村田岸瀬田川内邊見崎藤黒  
 保原森串山原澤保澤阪平藤井石山木本浦谷邊見根野田大田本本澤輪島鼻田井崎川尾部宮木田澤  
 小大景神北久國小小佐澤白杉鈴鈴田高殿年並永西野山前眞三峯安山林廣福古彌渡淺岩遠石  
 久利梅彦田七堅藤丹好宗太三新朔一隆雄三藤周三至將三晴豐謙弘治忠  
 吉重郎君稔武郎二實郎茂登郎治靖郎造郎之吉介郎覺次郎耶一藏郎良元治力郎一熊吉一助信恭君  
 直利三雄太次丹新朔一隆雄三藤周三至將三晴豐謙弘治忠  
 原村川田下井門保須藤田野本賀本浦谷邊見根野田大田本本澤輪島鼻田井崎川尾部宮木田澤  
 上岡小太鴨金久久黑桑後澤佐坂志杉杉闢田鶴利仲永西野山吉松三宮森山林平藤古堀渡雨青池岩  
 祥道織良雄富昌良運兵太源次正經春正多太一光隆長與次義正義紀全真次太嘉忠忠三  
 田野津川代井本岩島林藤東本谷山浦田治々永藤島倉見田村田宅浦島口田井田野邊田見藤坂  
 內荻大小管神川倉黑來小後山阪澁須杉千丹都富內中中能山吉前三本山林平藤福星渡和淺伊石

次航男藏壽治之人定器造正一治忠雄次覺一久郎一郎七熙八衛六二勇馬一郎二ガーフ君  
 伊治龜斌寛芳武利鐵忠誠平良正惣幸忠專三傳利廣新源桑滿三玄サウ久第秀之卯淺  
 上島井山田木村田野道屋橋刀邊福田田永原庭月田田鹽岡口藤川駒倉島居田ジエ木中發口田井野  
 井牛大奥太寃樋木黒佐志關高太田東福丸松三茂望山吉長西野安石生大大鷗倉  
 君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君  
 一吉造助男郎次一三勇德甫景郎君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君  
 善富倍八七一久英哲一新正高鐵一興廣傳三正俊孫重之重正太延三留八四雅次素二嘉  
 潤田地川島子古原重井水田川居田石田田上藤田田村木口川間上田部上島藤村木居田肥田野  
 江内負小大金木藏酒清關高田武土廣前前三武森山吉中二野阿岩井小岡川君佐下鈴武津土八久  
 助君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君君  
 之倉長宗泰一政繁直敬直廉節熊衛太樂義七藤德滿太惟清董次簡宣秀久太行康泰  
 英村村河山田野谷藤崎來野山中鄉伸雅山浦井川田崎村桐澤部本井村田田谷賀水木吹田永川本  
 岩植奥大小冲神河熊後島進瀧高田長原牧待三村森山山中中糠阿岸石奥太堅神古清鈴田津德西橋  
 一君郎肅三一雄郎一輔功親樹吉郎光郎郎輔治藏一助登郎一助鼎郎郎一二義一一道吉一郎郎  
 守七守興塚大榮龍虎太義之信茂富三武次四次之經忠貞圭幸鼎宇藤圓常武鹿圓常武鹿  
 藤上老岡部野口野瀬林東石場田英所部浦山本輪岸口田川山川井井村茂島林川訪奈井本出  
 遠井海大岡小川狩黑小山白關武橋調服松松宮三森山山吉中西青石岩薄大加繩小白誠田筒寺西  
 春

子君君  
 未新伊三董次良猛常嘉圭一幸一秋東章利榮謙壽萬廣次吉樹清時賢守三惠善敏藤忠卷  
 尾好内松神川塚藤内川澤中村田川見澤原海村根口泉藤口田田藤部久置田水根井口村木野藤池野  
 堀三山赤池小倉古竹戸長廣松森湯淺川桑新中藤山今後谷新增武河大笠阪清坪福溝吉青池遠菊庄  
 衛君君  
 兵三健辰一耕種博淺文在貞健太利時昌三治敏義嵐精龍熊德照眞甲毅九僑安好鶴之重鹿柳震吉匪  
 源寬島井山田澤賀藤坂田山谷田笠下邊田上井取田內十島馬山間本浦河合岡賀塚山浦内田口田庄村  
 本松森米池奥加近高德永長松武山渡石川皿鳥西宮五鹿相中本樹下大河清志迎畠三山秋井上川定  
 直次郎直策一周郎一郎寶秋一夫造一夫祐次惠吉郎藏吉郎作太造彦篤郎衛郎磨治藏郎勇郎夫君  
 弘正五雄正一太千良正秀郎常孝彦寅太森常一太信虎繁義九金辰重辰良次一次泰  
 田久野田永野田新木井川本崎口町藤村林中方井木井田本下澤越田保橋演野尾木原常藤  
 藤松水吉絲上奥郡鈴土中林松宮山吉伊河小田野藤東奥鈴筒原松山石川楠神高長松森曲江植河近  
 清瀬間根邊吉井石保藤邊井部尾井原田村地保和橋田島飼宮場本岡甲島邊藤田郷越山邊田野田  
 廣本三山有白大久齊田永服平名保吉市川久武根福八鶴小辻馬松諸愛櫛河佐住東堀村渡池海小木木村喬君

木之善助君  
木高石庫治君  
木中原貞三郎君  
木福留並喜君  
木浦太郎君  
木大河清君  
木佐口協君  
木藤長原君  
木津津明君  
木伊川安治君  
木植重良君  
木平允君  
木櫻山壯君  
木開正秀君  
木直木倫君  
木吉田德次君  
木福留正鹿君  
木三潮幸三郎君

木助君  
木高貞郎君  
木福留並喜君  
木浦太郎君  
木大河清君  
木佐口協君  
木藤長原君  
木津津明君  
木伊川安治君  
木植重良君  
木平允君  
木櫻山壯君  
木開正秀君  
木直木倫君  
木吉田德次君  
木福留正鹿君  
木三潮幸三郎君

木助君  
木高貞郎君  
木福留並喜君  
木浦太郎君  
木大河清君  
木佐口協君  
木藤長原君  
木津津明君  
木伊川安治君  
木植重良君  
木平允君  
木櫻山壯君  
木開正秀君  
木直木倫君  
木吉田德次君  
木福留正鹿君  
木三潮幸三郎君

嘉一郎君  
橋村元君  
中平牧新君  
平牧百次君  
中牧大佐君  
平牧沼山君  
中牧内莊君  
平牧岡叶君  
中牧最瀧君  
平牧勝江君  
中牧坪谷君  
平牧田原君  
中牧口原君  
平牧忠水君  
中牧野忠君  
平牧保君

## 准員大正十年度第一期分會費

金參圓也 中村孫一君

## 准員大正十一年度第二期分會費

金參圓也 中村孫一君

## 准員大正十二年度第三期分會費

金四圓也 大岡忠一君

## 准員大正十三年度第一期分會費

金四圓也 藤野嘉一郎君

## 准員大正十三年度第二期分會費

金四圓也 高野慶次郎君

## 准員大正十三年度第三期分會費

金四圓也 中村孫一君

## 准員大正十四年度第一期分會費

金四圓也 小森田備君

清水千代治君 中村孫一君

## 准員大正十四年度第二期分會費

金四圓也 小森田備君

村野爲次君 伊藤政惠君

金壹圓也 水原譽文君

## 准員大正十四年度第三期分會費

金四圓也 後藤安之君

小原譽文君 中村孫一君

中村孫一君

中村孫一君

木林健二君

後藤安之君

木村光男君

阿波田岩太郎君

岸波彦重君

中村孫一君

木村光男君

木村井辰造君

藤野嘉一郎君

岡田民一郎君

紀成中君  
金壹圓也  
准員大正十五年度第一期分會費

金四圓也  
長澤忠郎君  
菅井留治郎君  
村諸田君  
山木本村  
金參圓也  
黑木八宮銭也  
二金貳圓也  
金壹圓也

准員大正十五年度第二期分會費

金四圓也  
服部政二壹廉三萬惠清也  
小田金治君  
准員大正十五年度第三期分會費

金四圓也  
小田桐田武長山福木山高境吉  
小森田武極森下田正義  
吉

河岸  
義彦  
邊波

雄君  
一節寅一大忠三忠賢益末  
小然堀平大長石高野白加菊地  
千代

小笠原嘉兵衛君  
澤忠字一源民  
長福松平岡岩佐朝小武鶴小  
森本本田尾藤倉西藤義二他

文次  
藤平利藤邊代木川野本  
彦博五鑑太一  
武君

林君藏爲君  
服福相長松米宮川海宇

喜井良左廉孫一  
木村平門郎君  
中佐藤村田邊野崎  
鈴石中佐中岡河林桑吉

茶品田君

喜精一  
木井波田阿後中村工木  
松阿後中村工木

久保廣君  
大三島田城

谷本木井澤野倉岡  
磯岡鈴松西上小栗高  
市岸丹鈴小金芝小齋村  
川川內木林岡谷柳藤瀨城  
齊重高武太紀高石

山田元君

政宇森原澤崎川北野  
福相長松米宮川海宇

講君

一治郎君  
佐吉太  
末二  
松橋藤田成良田

高野正君  
高安石  
勝種

恒輔吉郎君  
後爲三節次常健之吉廣  
轄桂祐  
市岸丹鈴小金芝小齋村  
川川內木林岡谷柳藤瀨城  
齊重高武太紀高石

正 誤 表

Verdrehungsversuche mit Unbewehrten und Bewehrten  
Betonkörpern

(第十三卷第一號所載)

Seite	Zeile	lies	statt
13	9	Teile	Teils
36	1	Werk	werk
39	5 von unten	130 600	120 600
41	16 und 17	$Z' \sin \frac{\pi}{4} = Z$ in der Ableitung der Gl. (7)	$\beta=0$ oder $90^\circ$ in Gl. (7)
52	5 bis 16	1.905	19.05